

一期一会

出会いを宝物に

仙台市立仙台青陵中等教育学校

第1学年通信 第15号

2024. 3. 4 (月) 発行

SDGs環境出前講座～南極編

2月1日 第49次南極地域観測隊の石井洋子さんをお迎えして、1学年環境出前講座を実施しました。南極に滞在した経験から自然・エネルギー・気候変動などについて、多くの美しい写真を見せていただきながら興味深いお話を伺うことができました。今後、私たちがどのようなことを心がけながら生活すべきかを考えるきっかけになりました。



<生徒の感想から>

・南極大陸の約98%が氷で覆われているということが分かりました。南極の氷が長い年月を経て全て溶けると海が60M上昇するということ分かりました。南極での生活では無駄なエネルギーを出さないために電気を作った時に出る熱など水を溶かすのに利用していることが分かりました。地球温暖化の原因は人間の生活によるものだと分かりましたので、これから自分の生活の仕方を考えていきたいです。

・南極では1カ月半太陽が出ない時期や、逆に24時間太陽が出続けている時期があるということにとっても驚きました。また1年間の暮らしや風景に興味をわき、行ってみたいと感じました。ただ、地球温暖化により南極大陸の全部の水が溶けると60M海面が上昇し日本も沈んでしまうことを知り、環境問題を自分事により一層考えるようになりました。南極や地球全体を守るためにも助け合いが必要だと改めて感じました。

・南極で安全に暮らし、観測をすることができるのは、たくさんの関わってくれた人々や会員の方々の団結力があってからだと感じました。また、オゾン層の破壊は人間が普段行っていることが関係していることを知り、日頃からもっとニュースや新聞を読んで、自分ができるところを増やそうと思いました。

・知らないことだらけで南極に行ってみたくて興味をわきました。私たちの生活が南極の環境を壊してしまうこともあると聞いたので、これからの生活では節電や節水など自分にできることをやっつけていこうと強く思いました。

・今までは自分一人が環境問題に対して取り組んだとしても何も変わらないと思っていたけど、結局は一人一人が取り組まないと世界中で取り組むことは不可能だと気づきました。これからも世界の一員として環境問題に取り組みたいです。

令和6年度野外活動日程について

来年度の野外活動に関して、現時点での予定をお示し致します。2日目の4方面(東松島・石巻・女川・奥松島コース)の活動については希望をとって調整しております。今後は総合学習の時間でコース別事前学習を進めていきます。

5月20日(月) 学校→南三陸町 農業体験・タコロン絵付け
5月21日(火) 沿岸部震災復興防災研修(4方面)
5月22日(水) 第1次産業体験活動→亀山トレッキング→学校



震災講話

2月20日 総合学習の時間に佐藤慶治さんを講師にお迎えし、震災講話を行いました。佐藤さんは、南三陸町で東日本大震災を経験され、大学卒業後は観光協会で語り部などの活動をされてきました。その後、法人を起業され、町のスポーツ振興や集いの場を作り上げるなど、多くのメディアで取り上げられています。佐藤さんご自身の震災体験談や地域での取り組みをお聞きました。



(生徒の感想から)

- ・私が生まれて1カ月しかたっていない出来事で何があったのか分かりませんでした。講演を聞いて南三陸の状況を知ることができました。中学校では3カ月に1度避難訓練をし、動きを確認していると聞いて、経験を次に生かすことは大切だと気づきました。また復興に10年発展に10年も費やして今の南三陸ができていると分かりました。
- ・被災地域での暮らしや地域の未来を見通すことの大切さを知ることができました。私は、自分が震災を体験している最後の世代としての自覚と責任を持って行動し、これらを未来につなげていこうと思いました。

